

児童・保護者向けリーフレット（小学校用）

「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」のために

平成28年度さいたま市学習状況調査の調査結果より

「平成28年度 さいたま市学習状況調査」（平成29年1月10日実施）の結果について、お知らせします。

さいたま市の目指す子ども像「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」を実現するためには、学校・家庭・地域・行政が連携・協力し、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくんでいくことが大切です。さいたま市では、子どものよい点を伸ばし、課題を解決するために、小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒を対象とした「さいたま市学習状況調査」の結果を分析し、確かな学力の向上や望ましい生活習慣の確立等に役立ててまいります。

御家庭におきましては、お子様と日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の仕方について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

学力に関する調査

各教科の平均正答率（％）

学年	国語	算数	社会	理科
小3	72.2	76.1		
小4	75.4	68.9		
小5	74.1	67.4	66.7	59.2
小6	69.4	67.9	71.7	60.7

平成28年度さいたま市学習状況調査の概要

＜調査実施日＞平成29年1月10日（火）

＜調査対象＞小1から中3の全児童生徒

＜調査内容＞

●学力に関する調査

小3、小4 国語、算数

小5、小6 国語、算数、社会、理科

中1～中3 国語、数学、社会、理科、G・S（英語）

●生活習慣等に関する調査

小1～中3 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

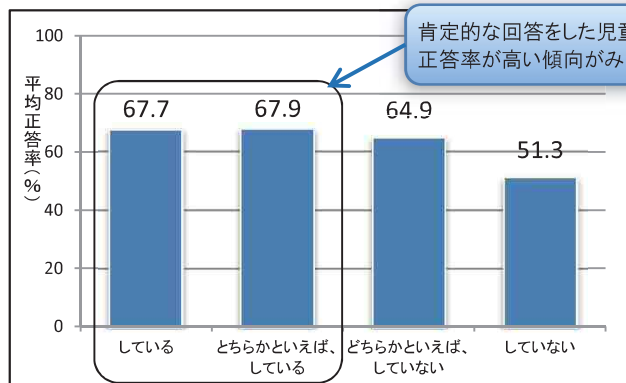
生活習慣等と学力の関連

○棒グラフは、「生活習慣等に関する調査」と「学力に関する調査」との結果の関係を表したものです。

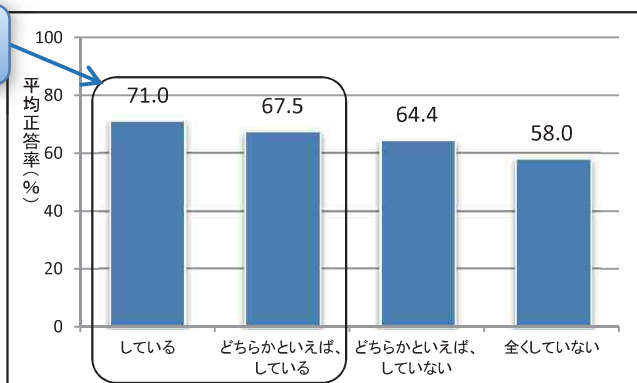
○「平均正答率」は、さいたま市全体の小3から小6の全教科の合計の平均正答率から算出しています。

市全体の調査結果を分析しますと、「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。」という質問項目について、肯定的な回答をしている児童の平均正答率は高い傾向がみられます。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という質問項目についても同様の傾向がみられます。

難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



「学びの足あと」を残そう

「『学びの足あと』を残す」とは、「子どもたちが、自分の考え※を表現し、それを残すこと」を大切にさせる取組です。子どもたちが、自分の考えを表現し、残すことで、学習を振り返ったり、自分のできるようになったことを確認したりすることができ、学習意欲の向上につながると考えます。

御家庭においても、「『学びの足あと』を残す」取組を御理解いただき、「子どもたちが自分の考えを表現し、それを残すことを大切にする」ことを習慣化できるように、次のような声掛けをお願いします。

※「考え」とは、ここでは思考の過程やその結果を表します。

子どもが自分の考えを表現し、それを残す大切さを実感できるようにするために・・・

- 【例】①自信がなくても、自分の考えたことや答えを書くように声を掛ける。
→書いたこと自体を「ほめたり」、「認めたり」することで、自分の考えたことや答えを残すようになります。
- ②書いた考えや答えを消さないで、赤ペンなどで書き加えるように声を掛ける。
→自分の考えを残すことで、自分の間違いを把握したり、自分の考えの変化を実感したりできるようになります。

【ノート等の書き方の工夫】（例）

＜自分の解き方＞

$$\begin{array}{r} 3x + 4 = x + 10 \\ 3x - x = 10 + 4 \\ -2x = 14 \\ -x = 7 \end{array}$$

＜正しい解き方＞

$$\begin{array}{r} 3x - x = 10 - 4 \\ 2x = 6 \\ x = 3 \end{array}$$

各学校でも、実情に応じた「『学びの足あと』を残す」取組を行います。

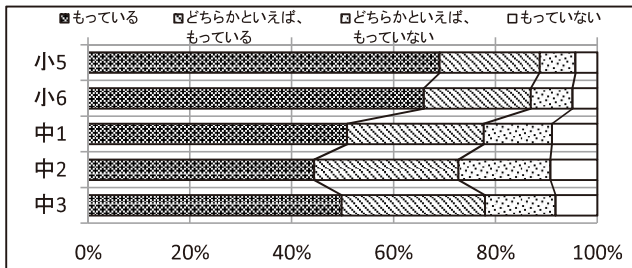


生活習慣等に関する調査

あなたの夢や目標は何ですか？

将来の夢や目標をもっていますか。

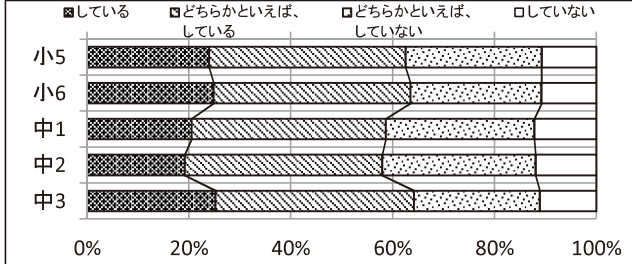
自分の夢や目標をもつことは、そのゴールに向かって努力していかうとする「学びのエネルギー」となります。



あなたの夢や目標を書き、家の人に話しましょう。



学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学校で学んだことと、自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。

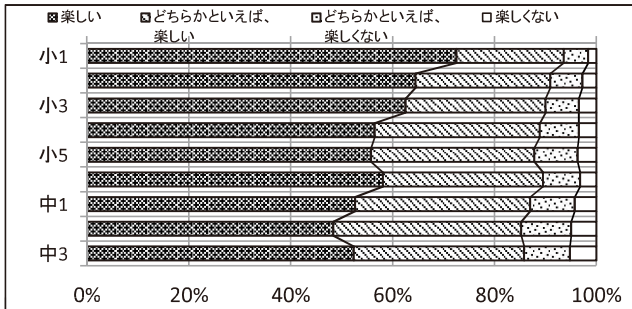


小・中学校ともに、最上級生である小6、中3において、肯定的な回答をする割合が高いことが分かります。

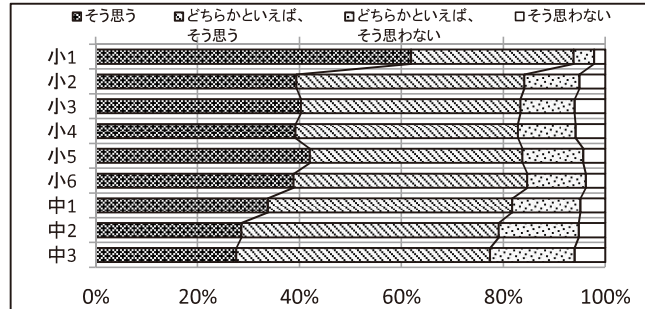
中学生になると、将来のことをより具体的に考えて生活していきます。小学生の段階から、自分の夢や希望をもち、目標に向かって努力していく意識を高めていくことが大切です。

子どもたちが夢や目標をもち、たくさんのことを学ぶことができるように、学校・家庭・地域が連携していくことが大切です。

学校に行くのは楽しいですか。



自分には、よいところがあると思いますか。



「学校に行くのは楽しいですか。」「自分には、よいところがあると思いますか。」は、小6、中3を対象に実施している「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査と同じ質問項目です。さいたま市の子どもたちは、全国平均と比較して、肯定的な回答をする割合が高く、本調査においても、全ての学年で、肯定的な回答をする割合が高いことが分かります。御家庭では、学校での出来事を話題にいただき、具体的にほめたり、はげましたりすることで、お子様が自分のよいところに気付くことができるようなかわりを大切にしてください。

生活習慣等に関する調査

質問項目どうしの関連

		毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。			
		寝ている	どちらかといえば、寝ている	どちらかといえば、寝ていない	寝ていない
時間 普段、1日あたりどれくらいのインターネットをしめますか。	4時間以上	26.3%	36.3%	18.7%	18.7%
	3時間以上、4時間より少ない	26.2%	45.7%	18.8%	9.3%
	2時間以上、3時間より少ない	28.7%	47.0%	17.2%	7.1%
	1時間以上、2時間より少ない	31.1%	48.1%	15.3%	5.6%
	30分以上、1時間より少ない	34.4%	47.9%	13.3%	4.4%
	30分より少ない	38.7%	45.2%	11.6%	4.5%
携帯電話やスマートフォンを持っていない		40.7%	43.5%	11.4%	4.5%

※ これは、「生活習慣等に関する調査」の、二つの質問項目を掛け合わせて、相互の関係について集計したものです。回答割合は、質問項目について全ての学年の調査結果を平均した値を用いています。

インターネットをする時間について、「30分より少ない」と回答した子どもたちと、「4時間以上している」と回答した子どもたちを比べると、「毎日同じ時刻に寝ている」と回答した割合に12.4ポイントの差があります。規則正しい生活習慣を確立するためにも、携帯電話やスマートフォンの使い方、インターネットをするときのルールなどを御家庭でも話し合いましょう。

さいたま市教育委員会では、保護者をはじめとする、子どもを取り巻く大人たちが、携帯電話やスマートフォン等に関する現状や課題を理解し、子どもたちの発達段階に合わせて適切な指導ができるようにするため、「親！おや？なるほどだね！出前講座」を開催しております。詳細は、さいたま市立教育研究所Webページを御覧ください。

さいたま市立教育研究所のWebページ(<http://www.saitama-city.ed.jp>)には、学力向上に役立つ様々な情報が掲載されています。ぜひ、御活用ください。

●学習状況調査結果：詳細な調査結果を掲載しています。

●学びの向上クイックレポート

全国や市独自の学習状況調査に関する情報を動画で配信

●課題克服応援シート

課題を克服したり、活用する力を伸ばしたりするためのワークシートを掲載

